

市川市文学サポーター協働展

2016.
2.27_{sat} - 4.10_{sun}

開館時間 10:00~19:30 (土日祝日は18:00まで)
入室は閉館時間の30分前まで

休館日 月曜日 (3月21日は開館)
3月22日、3月31日

観覧料 無料

主催：市川市



市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature



DONDUC



—— 市川市文学ミュージアム収蔵資料を中心に ——

本を彩った画家たち

本を彩った画家たち

—— 市川市文学ミュージアム収蔵資料を中心に ——



本展は、平成26年度に市川市文学サポーターと共に開催した、企画展「私のまごとお気に入りの本たち～文章とブックデザイン～」に続く、文学サポーターと文学ミュージアムとの第2回協働企画展となります。

今回は、日頃文学ミュージアムの活動を、さまざまな形で支えて下さっているサポーターとミュージアムの学芸員とが、当館所蔵資料を中心に、日本近代文学の複製本と雑誌に焦点をあて、その表紙絵や挿絵を手がけた画家と、文章を書いた作家との交流や関係性を取り上げ、本を彩る絵の美しさや、その背景などを浮き彫りにします。

サポーターと学芸員が共に企画から資料調査、展覧会運営までを行い、収蔵資料とサポーターの活動を広く紹介するものです。



■チラシ表面

(上から) 芥川龍之介『侏儒の言葉』表紙絵・小穴隆一／1927年(昭和2)
竹久夢二『どんたく』扉絵・竹久夢二／1913年(大正2)
武者小路実篤『カチカチ山と花咲翁』表紙絵・岸田劉生／1917年(大正6)
志賀直哉『暗夜行路』挿絵・錦木清方／1943年(昭和18)
夏目漱石『吾輩は猫である』中編 表紙絵・橋口五葉／1906年(明治39)
雑誌『赤い鳥』1924年(大正13) 7月号 表紙絵・清水良雄

■チラシ裏面

(右上) 宮澤賢治『注文の多い料理店』装丁・菊地武雄／1924年(大正13)
(左から) 國木田獨步『運命』装丁・瀧谷国四郎／1906年(明治39)
室生犀星『性に目覚める頃』装丁・恩地孝四郎／1920年(大正9)
夏目漱石『三四郎』装丁・橋口五葉／1909年(明治42)
雑誌『ほととぎす』1899年(明治32)8月号 表紙絵・下村為山 *
*は仁平道明氏所蔵、原書。それ以外はすべて、当館所蔵の複製本です。

特別協力：仁平 道明 氏

■関連イベント

●文学サポーターと学芸員による展示解説(申込不要)

日時：2016年2月28日(日)、3月12日(土) 14:00～15:00
会場：市川市生涯学習センター2階 企画展示室

●文学サポーターによる調査発表会(申込不要)

◇ 展示では紹介できなかったエピソードなどを、資料調査を行ったサポーターが発表します。

日時：2016年3月6日(日) 14:00～16:00
会場：市川市生涯学習センター2階 文学研修室

●講演会

「夏目漱石のイギリス留学と美術雑誌 THE STUDIO」(要申込)

◇ 漱石が愛した美術雑誌を手がかりに、2年間のイギリス留学の意義を探ります。

講師：仁平 道明 氏
和洋女子大学教授、和洋女子大学文化資料館館長。専門は日本文学。近代日本文学の貴重な書籍・雑誌のコレクションを持ち、本展にもその一部をご提供いただきます。

日時：2016年3月20日(日) 14:00～15:30
会場：市川市生涯学習センター3階 第2研修室
定員：70名
申込締切：3月4日(金)

〈申込方法〉

往復はがきまたはFaxでイベント名、参加人数(2名まで可)、氏名、住所、電話番号(Fax応募の場合は、Fax番号も)を記入の上、〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階(Fax: 047-320-3356) 市川市文学ミュージアム「本を彩った画家たち」関連イベント係までお送りください。

※申込多数の場合は、抽選とさせていただきます。

※締切後でも定員に余裕がある場合は、電話にて申込を受け付けます。

■アクセス



【JR 総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩 15 分
【都営新宿線】本八幡駅より徒歩 20 分
【京成線】鬼越駅より徒歩 10 分
【車】京葉道路 市川インターより 5 分



市川市文学ミュージアム

Ichikawa City Museum of Literature
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
生涯学習センター(中央図書館)2階
TEL: 047-320-3334
FAX: 047-320-3356
URL: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/litera/>